

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月3日

上場会社名 理想科学工業株式会社

上場取引所 東 JQ

コード番号 6413 URL http://www.riso.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 羽山 明

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 河合 伸雄

TEL 03-5441-6611

四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	61,789		26		37		598	
20年3月期第3四半期	66,751	3.3	3,666	13.3	3,826	18.9	1,854	7.7

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第3四半期	22.93			
20年3月期第3四半期	70.08		67.65	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第3四半期	109,965		64,993		59.0		2,523.26	
20年3月期	114,795		69,796		60.7		2,650.67	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 64,838百万円 20年3月期 69,630百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期				40.00	40.00
21年3月期					
21年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	85,000	8.2	500		650		600		23.01	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 26,643,166株 20年3月期 28,053,166株

期末自己株式数 21年3月期第3四半期 946,656株 20年3月期 1,784,156株

期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 26,080,943株 20年3月期第3四半期 26,455,853株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料において、平成20年12月24日に発表した通期業績予想を修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 平成21年3月期第3四半期の連結業績 (平成20年10月1日～平成20年12月31日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績 (3ヶ月)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	19,161	—	△736	—	△921	—	△790	—
20年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△30.45	—
20年3月期第3四半期	—	—

(注) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。従いまして、20年3月期第3四半期会計期間(3ヶ月)の業績及び対前年同四半期増減率は記載しておらず、同四半期会計期間に係る連結損益計算書につきましても開示しておりません。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の鈍化など景気は弱含みの展開となっておりますが、10月以降世界的な金融不安や急激な円高の影響を受け企業収益は悪化し、景気の減速感が強まりました。一方海外では、米国や欧州など先進国を中心に景気は一段と悪化し、アジア経済も景気の減速感が強まっており、世界経済の後退が顕著となっております。

このような経済状況のもと当社グループは、高速カラープリンター及びデジタル印刷機の本体設置台数の増加を図るべく販売活動に注力してまいりましたが、急激な円高と米州及び欧州における販売不振により高速カラープリンター・デジタル印刷機ともに計画を下回る結果となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は617億8千9百万円（前年同期比7.4%減）、営業損失は2千6百万円（前年同期は36億6千6百万円の営業利益）、経常損失は3千7百万円（前年同期は38億2千6百万円の経常利益）、四半期純損失は5億9千8百万円（前年同期は18億5千4百万円の四半期純利益）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の米ドル及びユーロの期中平均為替レートはそれぞれ102.84円（前年同期比14.44円の円高）、150.70円（前年同期比12.12円の円高）となり、為替の影響を差引いた売上高は前年同期に比べ1.7%の減収となります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

①印刷機器関連事業

当社グループは、印刷機器関連事業として主にインクジェット事業（高速カラープリンター）と孔版事業（デジタル印刷機）を行っております。高速カラープリンターの販売は、同製品のプリント速度と低ランニングコストの特性を活かし販売活動に注力し売上を伸ばしましたが、デジタル印刷機の販売は先進国で売上が減少し前年を大幅に下回りました。

この結果、印刷機器関連事業の売上高は609億2千2百万円（前年同期比7.6%減）となり、円高の影響に加えデジタル印刷機の売上減少に伴い売上総利益が減少したため営業損失は7億8百万円（前年同期は30億1千1百万円の営業利益）となりました。

②不動産その他事業

当社グループは、不動産その他事業として表参道ビル・新大阪ビルの賃貸を中心とした不動産事業と保険代理業を行っております。

不動産事業、保険代理業ともに計画どおり推移し、不動産その他事業の売上高は8億6千6百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は6億8千2百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりです。

①日本（国内及びアジア代理店向販売）

国内では、高速カラープリンターの売上は増加しましたがデジタル印刷機の売上が減少したため、売上はほぼ前年並みとなりました。アジア代理店向販売は、第3四半期に円高が進行したため売上が前年を下回りました。この結果、売上高は不動産その他事業も含め353億7千6百万円（前年同期比1.2%減）となりました。また円高の影響に加え、海外販売子会社への輸出調整による売上総利益の減少と研究開発費の増加により、4億8千7百万円の営業損失（前年同期は34億1千7百万円の営業利益）となりました。

②米州（米州子会社）

米州では、高速カラープリンターの売上を伸ばしましたが、デジタル印刷機の売上減少分をカバーできませんでした。売上高は円高の影響も受け76億9千1百万円（前年同期比15.2%減）となり、営業損失は4億3千1百万円（前年同期は6億3千万円の営業損失）となりました。

③欧州（欧州子会社）

欧州では、高速カラープリンターは前年より売上を伸ばしたものの第2四半期以降失速し、デジタル印刷機の売上の減少分をカバーできず、前年の売上を大きく下回りました。売上高は円高の影響も受け127億2千9百万円（前年同期比18.1%減）となり、営業損失は6億3千5百万円（前年同期は2億4千3百万円の営業利益）となりました。

④アジア（アジア・中国子会社）

アジアでは、インド、韓国などを中心にデジタル印刷機の売上を伸ばしましたが、円高の影響を受け、売上高は59億9千2百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は2億9千8百万円（前年同期比23.8%減）となりました。

※当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。従いまして、当第3四半期連結累計期間の連結損益計算書と前年同期の連結損益計算書とは作成基準が異なるため、前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

資産合計は48億2千9百万円減少し1,099億6千5百万円となりました。また純資産合計は48億2百万円減少し649億9千3百万円となりました。この結果自己資本比率は1.7ポイント減少し59.0%となりました。

主な増減内容は、資産の部では、現金及び預金が3億7千5百万円の増加、受取手形及び売掛金が48億5千万円の減少、有価証券が26億4百万円の減少、商品及び製品が12億4千1百万円増加しております。また負債の部では、支払手形及び買掛金が9億5千2百万円の増加、短期借入金が4億1千3百万円の減少、未払法人税等が7億7千4百万円減少しております。

（キャッシュ・フローの状況）

営業活動の結果獲得した資金は15億8千3百万円となりました。これは主に、減価償却費20億6千8百万円、為替差損4億4千9百万円、売上債権の減少額40億6千2百万円、税金等調整前四半期純損失3千7百万円、賞与引当金の減少額7億3千6百万円、たな卸資産の増加額31億2千3百万円、法人税等の支払額12億4百万円によるものです。

投資活動の結果支出した資金は15億5千9百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9億7千5百万円、無形固定資産の取得による支出7億8百万円、定期預金の払戻による収入2億4千4百万円によるものです。

財務活動の結果支出した資金は13億4千3百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出6億6千5百万円、配当金の支払額10億4千9百万円、短期借入金の純増額3億7千6百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年12月24日に発表した平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の連結業績予想につきまして以下のとおり修正いたしました。

（1）平成21年3月期通期連結業績予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	85,200	△670	△930	△60	△2.30円
今回修正（B）	85,000	△500	△650	△600	△23.01円
増減額（B－A）	△200	170	280	△540	－
増減率（％）	△0.2	－	－	－	－
（ご参考） 前期実績（平成20年3月）	92,621	5,397	4,709	1,657	62.73円

（2）修正理由

当社は、平成21年4月1日付で適格退職年金制度を廃止し、一部を確定拠出年金制度へ移行いたします。これに伴い、当期に退職給付制度改定損として特別損失4億円を見込みました。また、第3四半期累計期間の実績と直近の状況を踏まえ、通期業績予想を修正いたしました。

なお、通期為替レートにつきましては、米ドル100円、ユーロ142円を想定しています。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価の切下げの方法）により算定しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ90百万円減少しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ38百万円増加しております。

また、期首の利益剰余金から131百万円を減算したことに伴い、利益剰余金が同額減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,289	24,913
受取手形及び売掛金	11,297	16,147
有価証券	9,669	12,273
商品及び製品	12,287	11,045
仕掛品	786	571
原材料及び貯蔵品	1,414	1,360
繰延税金資産	2,015	2,670
その他	3,388	1,709
貸倒引当金	273	311
流動資産合計	65,875	70,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,620	18,538
減価償却累計額	11,186	10,862
建物及び構築物(純額)	7,434	7,676
機械装置及び運搬具	7,693	7,902
減価償却累計額	6,319	6,247
機械装置及び運搬具(純額)	1,374	1,655
工具、器具及び備品	15,971	16,662
減価償却累計額	14,048	15,164
工具、器具及び備品(純額)	1,923	1,497
土地	18,053	18,053
建設仮勘定	37	24
その他	12,576	12,613
減価償却累計額	8,655	8,505
その他(純額)	3,921	4,107
有形固定資産合計	32,744	33,014
無形固定資産		
ソフトウェア	1,976	1,807
のれん	-	137
その他	249	363
無形固定資産合計	2,226	2,309
投資その他の資産		
投資有価証券	1,805	2,279
長期貸付金	179	299
繰延税金資産	1,404	1,217
その他	6,007	5,559
貸倒引当金	276	265
投資その他の資産合計	9,119	9,089
固定資産合計	44,090	44,413
資産合計	109,965	114,795

（単位：百万円）

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,158	14,205
短期借入金	4,975	5,389
1年内返済予定の長期借入金	9	9
1年内償還予定の転換社債	13,286	13,286
未払法人税等	168	942
賞与引当金	817	1,559
役員賞与引当金	-	28
製品保証引当金	133	125
その他	5,873	5,925
流動負債合計	40,422	41,472
固定負債		
長期借入金	91	98
退職給付引当金	2,868	2,785
役員退職慰労引当金	241	229
持分法適用に伴う負債	147	226
その他	1,201	185
固定負債合計	4,550	3,526
負債合計	44,972	44,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	38,860	43,131
自己株式	1,386	3,210
株主資本合計	66,368	68,815
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	304	831
為替換算調整勘定	1,834	16
評価・換算差額等合計	1,529	815
少数株主持分	154	165
純資産合計	64,993	69,796
負債純資産合計	109,965	114,795

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	61,789
売上原価	30,942
売上総利益	30,846
販売費及び一般管理費	30,872
営業損失()	26
営業外収益	
受取利息	230
受取配当金	44
持分法による投資利益	393
その他	340
営業外収益合計	1,008
営業外費用	
支払利息	347
為替差損	558
その他	114
営業外費用合計	1,019
経常損失()	37
税金等調整前四半期純損失()	37
法人税等	544
少数株主利益	15
四半期純損失()	598

（第3四半期連結会計期間）

（単位：百万円）

当第3四半期連結会計期間 （自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）	
売上高	19,161
売上原価	9,508
売上総利益	9,653
販売費及び一般管理費	10,389
営業損失（ ）	736
営業外収益	
受取利息	69
受取配当金	20
持分法による投資利益	234
その他	100
営業外収益合計	424
営業外費用	
支払利息	105
為替差損	470
その他	34
営業外費用合計	609
経常損失（ ）	921
税金等調整前四半期純損失（ ）	921
法人税等	127
少数株主損失（ ）	3
四半期純損失（ ）	790

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

当第3四半期連結累計期間
 （自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日）

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失（ ）	37
減価償却費	2,068
持分法による投資損益（ は益）	393
退職給付引当金の増減額（ は減少）	82
役員退職慰労引当金の増減額（ は減少）	11
役員賞与引当金の増減額（ は減少）	28
貸倒引当金の増減額（ は減少）	60
賞与引当金の増減額（ は減少）	736
受取利息及び受取配当金	274
支払利息	347
為替差損益（ は益）	449
売上債権の増減額（ は増加）	4,062
たな卸資産の増減額（ は増加）	3,123
仕入債務の増減額（ は減少）	1,989
未払金の増減額（ は減少）	424
その他	1,178
小計	2,873
利息及び配当金の受取額	262
利息の支払額	348
法人税等の支払額	1,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,583
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	12
定期預金の払戻による収入	244
有形固定資産の取得による支出	975
無形固定資産の取得による支出	708
投資有価証券の取得による支出	136
投資有価証券の売却による収入	4
貸付けによる支出	34
貸付金の回収による収入	147
その他	87
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（ は減少）	376
長期借入れによる収入	3
長期借入金の返済による支出	8
自己株式の取得による支出	665
配当金の支払額	1,049
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,343
現金及び現金同等物に係る換算差額	838
現金及び現金同等物の増減額（ は減少）	2,157
現金及び現金同等物の期首残高	30,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,269

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)

	印刷機器関連事業 (百万円)	不動産その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	18,854	307	19,161	—	19,161
(2) セグメント間の内部売上高	—	18	18	(18)	—
計	18,854	325	19,180	(18)	19,161
営業利益又は営業損失(△)	△981	244	△736	—	△736

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	印刷機器関連事業 (百万円)	不動産その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	60,922	866	61,789	—	61,789
(2) セグメント間の内部売上高	—	59	59	(59)	—
計	60,922	926	61,849	(59)	61,789
営業利益又は営業損失(△)	△708	682	△26	—	△26

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	11,478	2,176	3,646	1,860	19,161	—	19,161
(2) セグメント間の内部売上高	3,835	0	126	1,661	5,624	(5,624)	—
計	15,314	2,176	3,772	3,522	24,786	(5,624)	19,161
営業損失(△)	△1,317	△65	△156	△12	△1,551	815	△736

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	35,376	7,691	12,729	5,992	61,789	—	61,789
(2) セグメント間の内部売上高	15,791	1	368	5,505	21,666	(21,666)	—
計	51,167	7,692	13,098	11,497	83,456	(21,666)	61,789
営業利益又は営業損失(△)	△487	△431	△635	298	△1,255	1,229	△26

〔海外売上高〕

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

	米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高（百万円）	2,176	3,674	2,152	8,003
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	19,161
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	11.4	19.2	11.2	41.8

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高（百万円）	7,691	12,857	7,379	27,927
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	61,789
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	12.4	20.8	11.9	45.1

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年7月1日付で、自己株式の消却を行いました。この結果、第2四半期連結会計期間において資本剰余金が0百万円、利益剰余金が2,490百万円及び自己株式が2,490百万円減少しております。

また、当第3四半期連結累計期間において自己株式の取得を665百万円行いました。

主にこれらの要因により、当第3四半期連結会計期間末においては、資本剰余金14,779百万円、利益剰余金38,860百万円、自己株式1,386百万円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日～至平成19年12月31日）

科目	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	66,751
II 売上原価	32,203
売上総利益	34,547
III 販売費及び一般管理費	30,881
営業利益	3,666
IV 営業外収益	
受取利息	218
受取配当金	42
持分法による投資利益	208
受取保険返戻金	63
その他	269
営業外収益合計	804
V 営業外費用	
支払利息	439
為替差損	95
固定資産除却損	72
その他	37
営業外費用合計	644
税金等調整前四半期純利益	3,826
税金費用	1,964
少数株主利益	7
四半期純利益	1,854

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日～至平成19年12月31日）

	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)
区分	金額（百万円）
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,826
減価償却費	2,060
のれん償却額	37
持分法による投資損失（投資利益：△）	△208
退職給付引当金の増加額（減少額：△）	△213
役員退職慰労引当金の増加額（減少額：△）	△70
役員賞与引当金の増加額（減少額：△）	△21
貸倒引当金の増加額（減少額：△）	△14
賞与引当金の増加額（減少額：△）	△765
受取利息及び受取配当金	△261
支払利息	439
為替差損（差益：△）	△13
売上債権の減少額（増加額：△）	3,273
たな卸資産の減少額（増加額：△）	△1,140
仕入債務の増加額（減少額：△）	△662
未払金の増加額（減少額：△）	△549
その他	523
小計	6,236
利息及び配当金の受取額	240
利息の支払額	△440
法人税等の支払額	△2,323
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,713

	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)
区分	金額 (百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,749
定期預金の払出による収入	1,512
有価証券の売却による収入	3,995
有形固定資産の取得による支出	△1,651
無形固定資産の取得による支出	△502
投資有価証券の取得による支出	△3,004
貸付金の貸付けによる支出	△122
貸付金の回収による収入	67
その他	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,425
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れの純増加額 (純減少額: △)	△164
長期借入れによる収入	24
長期借入金の返済による支出	△19
社債の償還による支出	△816
自己株式の取得による支出	△142
配当金の支払額	△1,058
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,177
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	110
V 現金及び現金同等物の増加額 (減少額: △)	220
VI 現金及び現金同等物の期首残高	32,667
VII 現金及び現金同等物の期末残高	32,887

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日～至平成19年12月31日)

	印刷機器関連事業 (百万円)	不動産その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	65,916	834	66,751	—	66,751
(2) セグメント間の内部売上高	—	57	57	(57)	—
計	65,916	892	66,808	(57)	66,751
営業利益	3,011	655	3,666	—	3,666

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日～至平成19年12月31日)

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	35,801	9,064	15,541	6,343	66,751	—	66,751
(2) セグメント間の内部売上高	18,113	5	418	6,716	25,254	(25,254)	—
計	53,915	9,070	15,959	13,059	92,005	(25,254)	66,751
営業利益又は営業損失(△)	3,417	△630	243	392	3,422	243	3,666

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日～至平成19年12月31日)

	米州	欧州	アジア	計
I 海外売上高 (百万円)	9,064	15,829	8,034	32,929
II 連結売上高 (百万円)	—	—	—	66,751
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	13.6	23.7	12.0	49.3